

平成22年9月期 第1四半期決算短信

平成22年2月12日

上場会社名 株式会社アドバンスクリエイト

上場取引所 大

コード番号 8798 URL <http://www.advancecreate.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 濱田 佳治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営管理本部長 (氏名) 村上 浩一

TEL 06-6204-1193

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年9月期第1四半期の連結業績(平成21年10月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第1四半期	1,605	1.9	100	△22.8	23	△65.4	25	△67.6
21年9月期第1四半期	1,574	—	129	—	68	—	78	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年9月期第1四半期	230.05	229.35
21年9月期第1四半期	731.27	730.34

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
22年9月期第1四半期	8,010	30,522.80	3,996	31,879.47	41.9	30,522.80
21年9月期	7,554	31,879.47	4,163	31,879.47	46.4	31,879.47

(参考) 自己資本 22年9月期第1四半期 3,355百万円 21年9月期 3,505百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年9月期	1,500.00	—	—	1,500.00	3,000.00
22年9月期	—	—	—	—	—
22年9月期(予想)	—	1,500.00	—	1,500.00	3,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年9月期の連結業績予想(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	3,400	9.5	350	33.9	200	73.6	150	108.1	1,364.10
連結累計期間	7,000	7.8	900	15.7	600	30.6	400	31.2	3,637.59
通期									

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

※詳細は4ページ【定性的情報】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年9月期第1四半期 112,391株 21年9月期 112,391株

② 期末自己株式数 22年9月期第1四半期 2,446株 21年9月期 2,428株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年9月期第1四半期 109,938株 21年9月期第1四半期 106,703株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている当社の業績見通しは、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、輸出の回復、在庫調整の一巡により企業収益に底入れの兆しは見えるものの、円高、デフレの進行など先行きの不透明感を拭いきれず、また、厳しい雇用環境が続く中で、個人消費は依然として低調に推移しております。

このような状況の下、消費者の生活防衛意識が高まる中で、当社グループは、「お客様が最適・快適な購買環境で、簡単便利に保険を購入いただく」ことを目標に掲げ、様々な「販売チャネル」を構築し、お客様のニーズに幅広く、機動的に対応してまいりました。

営業面では、日本最大級の保険比較サイト「保険市場（ほけんいちば）」を柱に、積極的なプロモーションを行い、当サイトで圧倒的な来訪者数を確保し、新規保険契約の増加に繋げております。

また、リアル店舗である「保険市場（ほけんいちば）」につきましては前期に引続き、新たな店舗形態で3大都市圏を主体に出店を進め、お客様志向の徹底した社員教育の下、「貯蓄や節約」と多様化するお客様ニーズを的確に捉え、既存店を大幅に上回る実績を挙げております。

さらに、効果的なWebプロモーション活動の結果、インターネットやモバイルを利用した資料請求や問合せ・相談が着実に増加しておりますので、元受保険会社および来店型保険ショップやコンサルティング営業を展開する他の保険代理店と協同して対応する「協業」戦略を強化し、お客様対応の強化を図っております。

以上の取組みにより、当第1四半期連結会計期間における新規の保険契約件数は58千件（前年同期比7.8%増）、当第1四半期連結会計期間末の保有契約件数につきましても337千件（前連結会計年度末比2.9%増）となりました。

損益面では、販売費及び一般管理費は縮減（前年同期比6.2%減）しておりますが、Webプロモーションを積極的に展開した結果、外注費は増加（前年同期比28.0%増）いたしました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は1,605百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益は100百万円（前年同期比22.8%減）、経常利益は23百万円（前年同期比65.4%減）、四半期純利益は25百万円（前年同期比67.6%減）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

保険代理店事業におきましては、上述の展開により当第1四半期連結会計期間の営業収益は1,516百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益は107百万円（前年同期比13.7%減）となりました。

広告代理店事業におきましても、上記「保険市場（ほけんいちば）」のブランド力向上を背景に、Webマーケティング手法をベースとした営業を行い、従来からの紙媒体の広告提案から、インターネット広告へのシフトを図っております。この結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は55百万円（前年同期比42.4%増）、営業損失は3百万円（前年同期は営業利益1百万円）となりました。

損害保険事業におきましては、営業開始2年目にあたり契約獲得に向け、代理店の拡大、顧客サービス体制の充実等、販売・サービス共に営業体制の拡充を図り、当第1四半期連結会計期間の売上高は28百万円（前年同期比109.5%増）、営業利益は0円（前年同期は営業損失1百万円）となりました。

再保険事業におきましては、前期第2四半期連結会計期間より業務を開始しておりますが、当第1四半期連結会計期間の売上高4百万円、営業損失は3百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産・負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ総資産は455百万円増加し8,010百万円、負債は622百万円増加の4,014百万円、純資産は167百万円減少の3,996百万円となりました。

資産の増加の主な要因は、受取手形及び売掛金の増加271百万円であります。負債の増加の主な要因は、短期借入金の増加600百万円であります。また純資産の減少の主な要因は、配当による利益剰余金の減少164百万円であります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ140百万円減少し、1,118百万円となりました。当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間においては、売上債権の増加263百万円（前年同期は349百万円の減少）等により、営業活動の結果使用した資金は193百万円（前年同期は501百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間において投資活動の結果使用した資金は、保険業法第113条繰延資産の取得による支出148百万円(前年同期は142百万円の支出)及び差入保証金の差入による支出139百万円(前年同期は4百万円の支出)等があり、399百万円(前年同期は270百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間における財務活動の結果、短期借入金が増加(前年同期は129百万円の増加)したこと等により、452百万円(前年同期は113百万円の収入)の資金を獲得いたしました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、今後の当社グループの事業環境及び第2四半期連結会計期間の進捗状況を見極める必要があるため、前回予想(平成21年11月13日公表)を修正いたしません。見直しが必要であると判断した時点で速やかに開示いたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に、経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測及びタックス・プランニングを利用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,242,064	1,309,769
受取手形及び売掛金	1,647,502	1,376,471
繰延税金資産	187,664	187,664
その他	251,053	226,934
貸倒引当金	△640	△2,141
流動資産合計	3,327,644	3,098,697
固定資産		
有形固定資産	224,958	210,904
無形固定資産		
のれん	195,737	203,940
広告実施権等	216,039	225,402
ソフトウェア	348,371	388,377
その他	107,354	61,757
無形固定資産合計	867,502	879,478
投資その他の資産		
投資有価証券	327,396	335,159
保険積立金	1,320,767	1,311,454
差入保証金	510,655	393,578
その他	287,680	283,174
投資その他の資産合計	2,446,501	2,323,366
固定資産合計	3,538,962	3,413,749
繰延資産		
開業費	152,489	167,514
開発費	87,383	106,262
保険業法第113条繰延資産	871,102	730,771
その他	33,041	37,957
繰延資産合計	1,144,016	1,042,506
資産合計	8,010,623	7,554,953
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,241	14,060
短期借入金	1,500,000	900,000
賞与引当金	58,285	119,842
店舗閉鎖損失引当金	—	8,598
その他	1,117,493	1,052,397
流動負債合計	2,684,020	2,094,899
固定負債		
社債	1,020,000	1,020,000
長期借入金	59,600	75,000
退職給付引当金	39,720	32,630
その他	210,704	168,680
固定負債合計	1,330,024	1,296,310
負債合計	4,014,045	3,391,209

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,915,314	2,915,314
資本剰余金	615,018	618,507
利益剰余金	△51,662	87,990
自己株式	△124,190	△122,193
株主資本合計	3,354,479	3,499,619
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,349	5,942
評価・換算差額等合計	1,349	5,942
新株予約権	2,060	—
少数株主持分	638,688	658,181
純資産合計	3,996,577	4,163,743
負債純資産合計	8,010,623	7,554,953

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	1,574,454	1,605,104
売上原価	438,558	561,279
売上総利益	1,135,896	1,043,825
販売費及び一般管理費	1,006,157	943,633
営業利益	129,738	100,192
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,390	1,520
その他	21,809	12,367
営業外収益合計	24,199	13,888
営業外費用		
支払利息	9,846	9,727
開発費償却	43,568	18,879
保険業法第113条繰延資産償却	20,206	41,035
その他	11,435	20,621
営業外費用合計	85,056	90,264
経常利益	68,881	23,815
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	1,501
特別利益合計	—	1,501
特別損失		
店舗閉鎖損失	2,276	9,069
その他	7,150	1,291
特別損失合計	9,427	10,360
税金等調整前四半期純利益	59,454	14,956
法人税、住民税及び事業税	39,904	9,158
法人税等調整額	△39,569	—
法人税等合計	335	9,158
少数株主損失(△)	△18,910	△19,493
四半期純利益	78,029	25,291

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	59,454	14,956
減価償却費	64,458	73,533
のれん償却額	3,356	8,202
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	21	△1,501
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△50,470	△61,556
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,395	7,090
受取利息及び受取配当金	△2,390	△1,520
支払利息	9,846	9,727
繰延資産償却額	72,559	79,856
売上債権の増減額 (△は増加)	349,228	△263,598
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,962	△5,819
その他	68,043	9,071
小計	570,539	△131,556
利息及び配当金の受取額	2,098	1,219
利息の支払額	△9,238	△9,018
法人税等の支払額	△60,723	△47,970
店舗閉鎖による支出	△1,426	△6,117
営業活動によるキャッシュ・フロー	501,249	△193,443
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△95,150	△75,345
定期預金の払戻による収入	200,000	2,760
有形固定資産の取得による支出	△9,451	△6,250
投資有価証券の取得による支出	△209,114	—
無形固定資産の取得による支出	△111,035	△39,716
貸付けによる支出	△200,000	—
貸付金の回収による収入	309,257	4,843
保険積立金の積立による支出	△9,313	△9,313
差入保証金の差入による支出	△4,333	△139,496
差入保証金の回収による収入	8,060	11,957
保険業法第113条繰延資産の取得による支出	△142,918	△148,950
繰延資産の取得による支出	△6,314	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△270,313	△399,511
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	350,000	600,000
短期借入金の返済による支出	△221,000	—
長期借入金の返済による支出	△15,400	△15,400
自己株式の取得による支出	—	△15,451
配当金の支払額	△326	△128,404
その他	—	12,025
財務活動によるキャッシュ・フロー	113,273	452,768
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△102

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	344,209	△140,289
現金及び現金同等物の期首残高	1,152,497	1,259,143
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,496,707	1,118,854

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成20年10月1日 至平成20年12月31日）

	保険代理店事業 （千円）	広告代理店事業 （千円）	損害保険事業 （千円）	計（千円）	消去又は全社 （千円）	連結 （千円）
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,521,792	38,944	13,717	1,574,454	—	1,574,454
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,103	17,632	—	19,735	(△19,735)	—
計	1,523,895	56,577	13,717	1,594,190	(△19,735)	1,574,454
営業利益又は営業損失 (△)	124,489	1,770	△1,518	124,741	4,996	129,738

当第1四半期連結累計期間（自平成21年10月1日 至平成21年12月31日）

	保険代理店事業 （千円）	広告代理店事業 （千円）	損害保険事業 （千円）	再保険事業 （千円）	計 （千円）	消去又は全社 （千円）	連結 （千円）
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	1,516,133	55,450	28,735	4,784	1,605,104	—	1,605,104
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	31,443	11,546	—	—	42,989	(42,989)	—
計	1,547,576	66,997	28,735	4,784	1,648,094	(42,989)	1,605,104
営業利益又は営業損失 (△)	107,398	△3,883	—	△3,927	99,587	604	100,192

(注) 1. 事業区分の方法

経営の実態が具体的かつ適切に開示できるよう、事業を区分しております。

2. 各事業区分の内容

保険代理店事業 生命保険および損害保険の代理店業。

広告代理店事業 Webプロモーションその他広告業務取扱いおよび企画、制作ならびにマーケティング等サービス活動。

損害保険事業 損害保険業。

再保険事業 再保険業。

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成20年10月1日 至平成20年12月31日）

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自平成21年10月1日 至平成21年12月31日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自平成20年10月1日至平成20年12月31日）

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自平成21年10月1日至平成21年12月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。